



薬局だより

2026 年 7 月

～関節リウマチについて～🌻

関節リウマチとはどんな病気？

本来、外敵(細菌やウイルス)から体を守るはずの『免疫』が、自分自身の関節を誤って攻撃してしまう『自己免疫疾患』です。

- ・原因: はっきりとした原因はまだ解明されていませんが、遺伝的な要因に喫煙・歯周病・ストレス
・ウイルス感染などの環境要因が重なって発症すると考えられています。
- ・対象: 30-50代の女性に多く発症しますが、高齢者や男性でも珍しくありません。

見逃さないで！リウマチの初期症状

リウマチは『早期発見・早期治療』が何より重要です。以下のようなサインはありませんか？

- ・朝のこわばり: 朝起きた時、手が開きにくい、動かしにくい状態が 15 分以上続く。
- ・関節の腫れ・痛み: 指の付け根や第二関節、手首、足の指などが左右対称に腫れて痛む。
- ・多発性関節炎: あちこちの関節が同時に、あるいは次々と腫れる。
- ・全身症状: 微熱、倦怠感、食欲不振など、風邪に似た症状が続く。

関節の中で何が起きている？(進行のメカニズム)

①滑膜(かつまく)の炎症

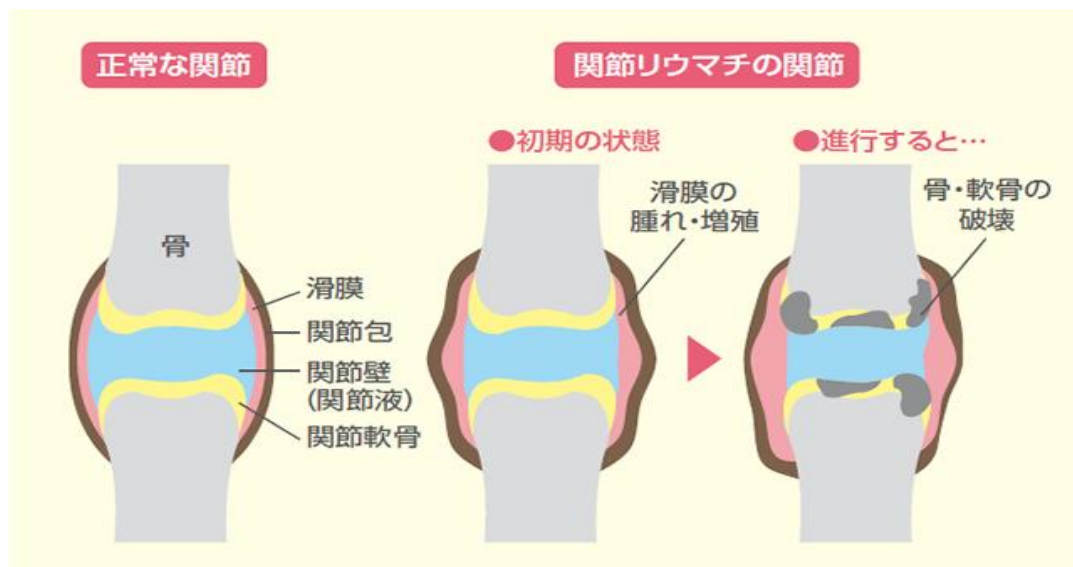
関節を包む『滑膜』が攻撃され、腫れ上がります。

②骨・軟骨の破壊

炎症が続くと、骨や軟骨が溶け始め、関節が変形します。

③機能障害

一度壊れた関節は元に戻りにくいため、早期に炎症を抑え込むことが必要です。



治療薬のまとめ

現在の治療は、炎症を抑えるだけでなく、免疫の異常そのものに働きかける薬が主流です。

① 抗リウマチ薬: 治療の土台。免疫異常を調整。

薬剤の種類 一般名(商品名)	特徴	注意点
メトトレキサート (リウマトレックス)	第一選択薬 週1回服用	肝障害・骨髄抑制・間質性肺炎
サラゾスルファピリジン (アザルフィジン)	比較的安全	発疹・消化器症状
ブシラミン(リマチル)	日本で使用多い	タンパク尿・皮疹
レフルノミド(アラバ)	強力	肝障害・催奇形性
イグラチモド(ケアラム)	特になし	肝障害・ワーファリンと併用禁忌
タクロリムス(プロGRAF)	免疫抑制	腎機能・血圧

② 生物学的製剤: 炎症物質をピンポイントで抑える。感染症(結核・肺炎など)に注意が必要。

分類	薬剤の種類 一般名(商品名)	特徴
TNF 阻害薬	インフリキシマブ(レミケード)	点滴静注
	エタネルセプト(エンブレル)	皮下注
	アダリムマブ(ヒュミラ)	皮下注
	ゴリムマブ(シンボニー)	皮下注
IL-6 阻害薬	トシリズマブ(アクテムラ)	点滴静注・皮下注・効果高い
	サリルマブ(ケブザラ)	皮下注
T 細胞共刺激阻害	アバタセプト(オレンシア)	点滴静注・皮下注比較的安全性高い

③ JAK 阻害薬: 最新の飲み薬。細胞内の信号を遮断。

薬剤の種類 一般名(商品名)	特徴	注意点
トファシチニブ(ゼルヤンツ)	内服	感染症・血栓
バリシチニブ(オルミエント)	内服・効果が比較的早い	带状疱疹
ウパダシチニブ(リンヴォック)	内服・選択性が高い	血栓・感染

④ ステロイド・NSAIDs: 即効性の痛み止め。補助的に使う。

	薬剤の種類	特徴	注意点
ステロイド	プレドニゾロン(プレドニン)	炎症を強く抑える。 即効性あり	長期使用で副作用
NSAIDs	セレコキシブ(セレコックス)	痛み軽減・屯用可	胃腸障害・腎障害
	ロキソプロフェン(ロキニソン)		

～安全に治療を続けるために～

免疫を調整する薬を飲んでいる間は、特に以下の点に注意しましょう。

- ・『風邪かな?』と思ったら: 微熱や乾いた咳が出た場合は、早めに主治医に連絡してください。
- ・口腔ケアを徹底: 歯周病はリウマチを悪化させる一因です。毎日の歯磨きと定期検診を。
- ・禁煙: タバコはリウマチの発症リスクを高め、薬の効果を著しく下げてしまいます。
- ・自己判断の中断は NG: 痛みは消えても関節破壊が進んでいる場合があります。お薬は指示通り続けましょう。